

実施概要

目的：第4次総合計画の見直し作業を進めるに当たって参考とするため、本市職員に対し、第4次総合計画で示されている政策目標(めざすまちの姿)に関する評価と、推進していくべきと考えるSDGsの目標について、アンケート調査を実施

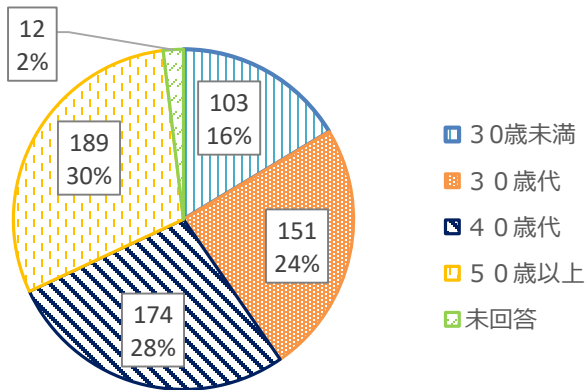
実施期間：1回目:令和4年(2022年)9月7日～21日 2回目:令和4年(2022年)10月5日～25日

対象：吹田市職員(庁内電子申込システムより回答)

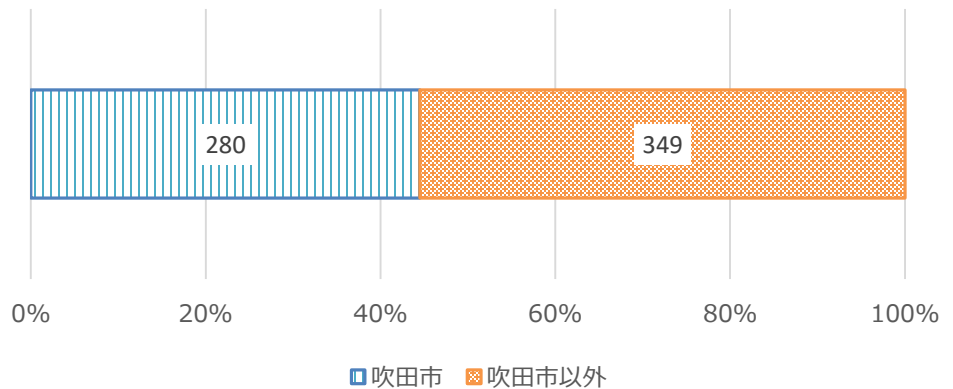
回答数：629人

質問項目：1総合計画の19のめざすまちの姿の評価 2 SDGsの認知度、注力すべきゴール

回答者の年齢層



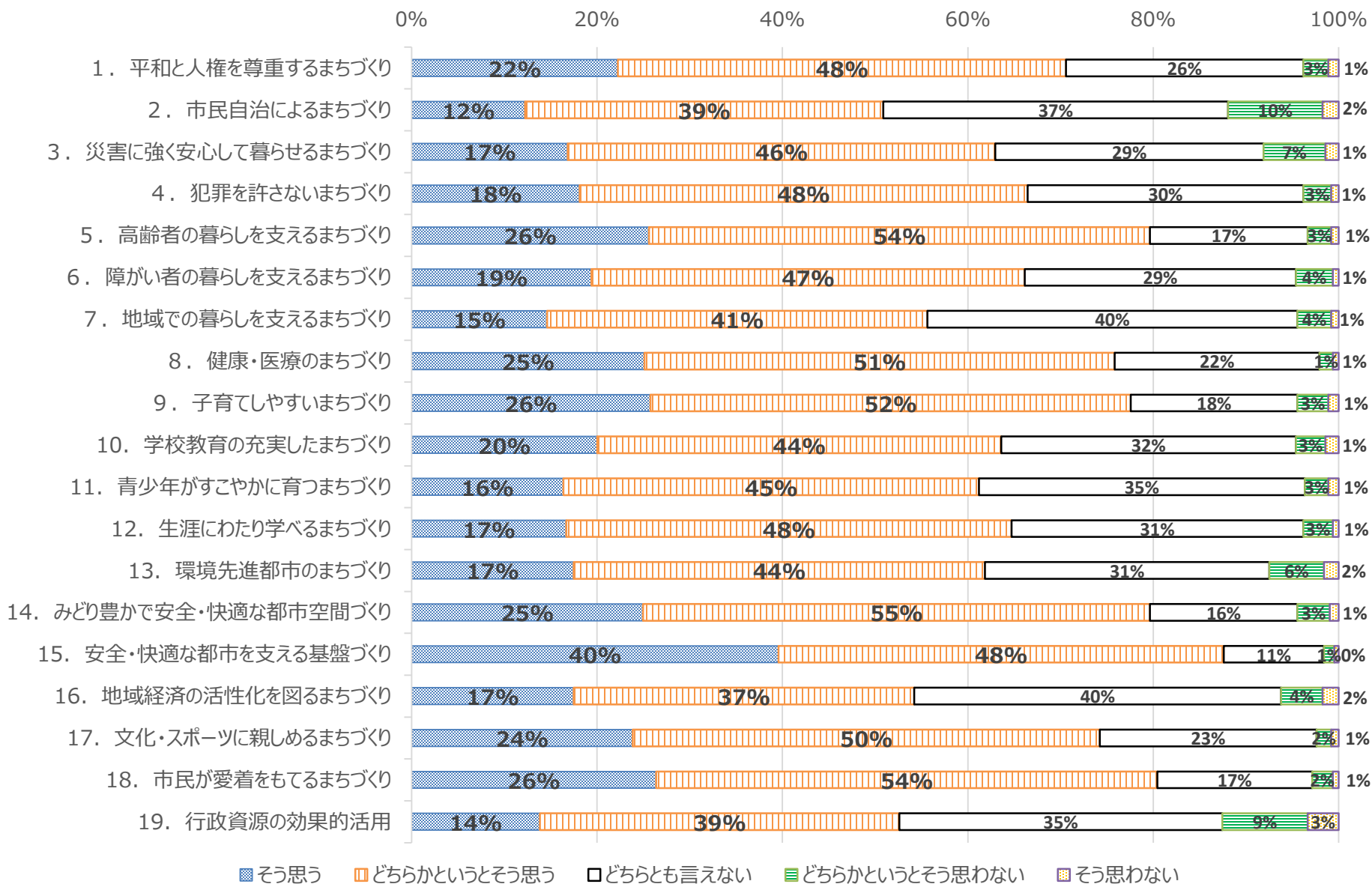
居住地



集計結果

1 第4次総合計画の19の政策目標(めざすまちの姿)に対する評価について

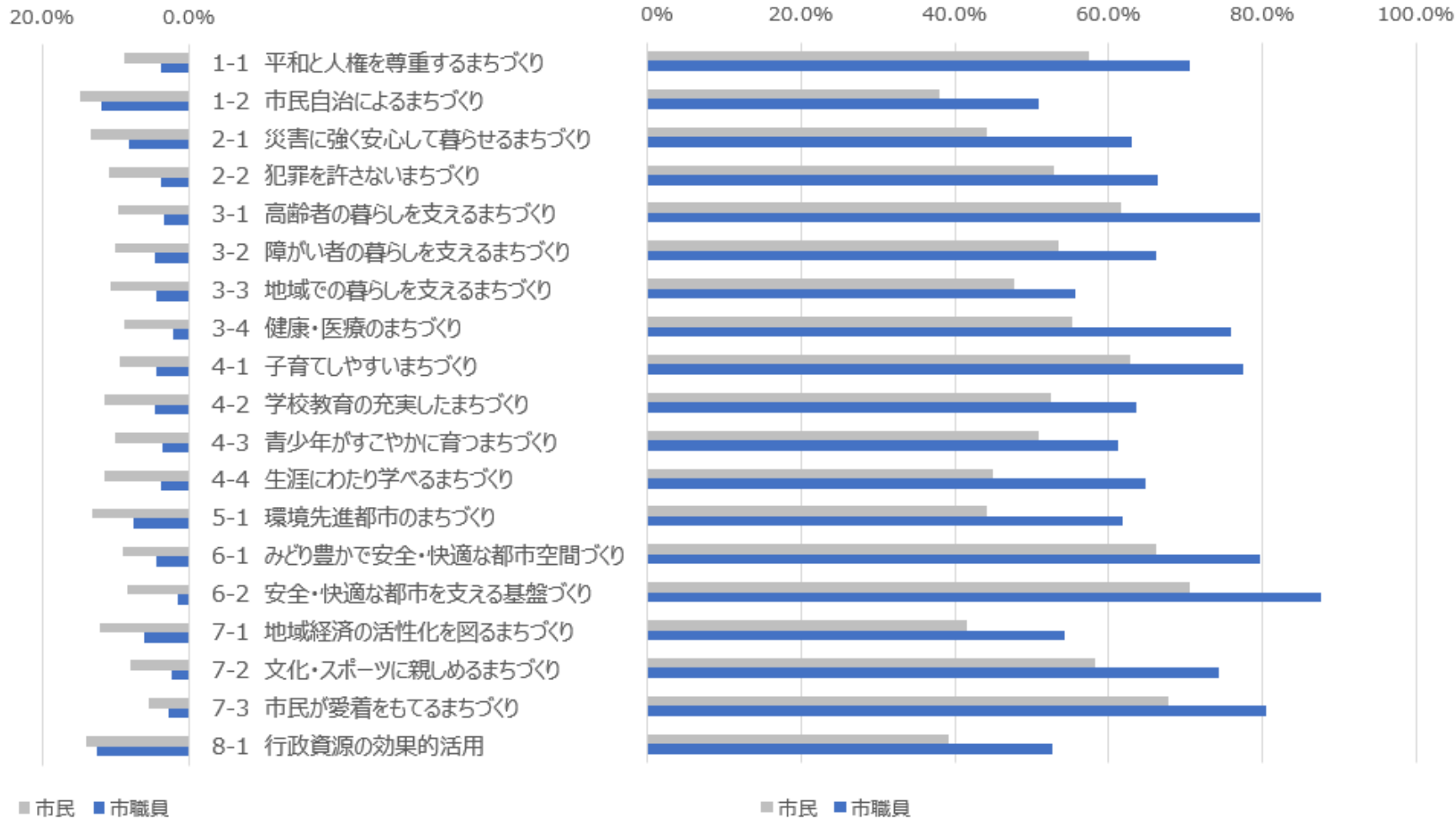
問：吹田市の職員として、各政策の「めざすまちの姿」に近づいていると思うか。



政策ごとのめざすまちの姿に対する評価(市民・市職員比較)

そう思わない+どちらかと言うとそう思わない

そう思う+どちらかと言うとそう思う



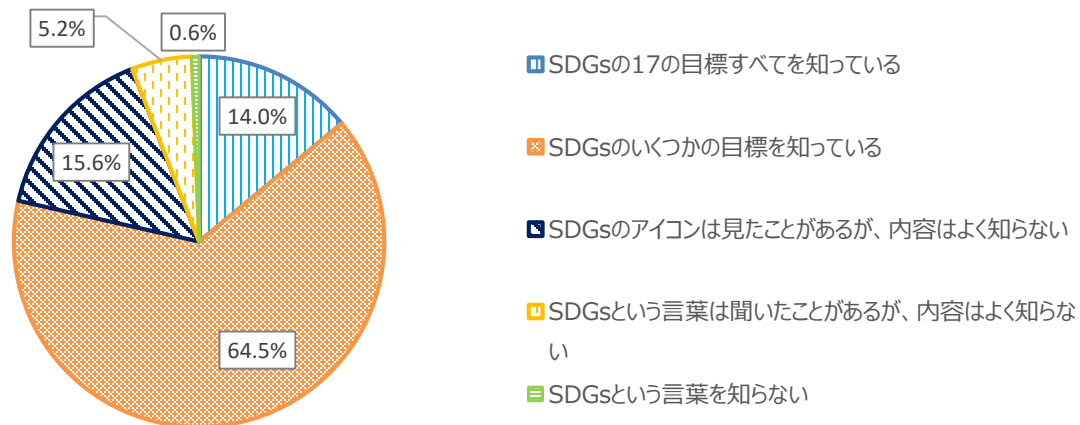
●全体的に職員の評価が市民の評価を上回る形となったが、評価の傾向は類似している。

●総合計画の「めざすまちの姿」に近づいているかどうかを聞いており、市民にとってあまりなじみがない政策などは評価が難しかったものと思われる。

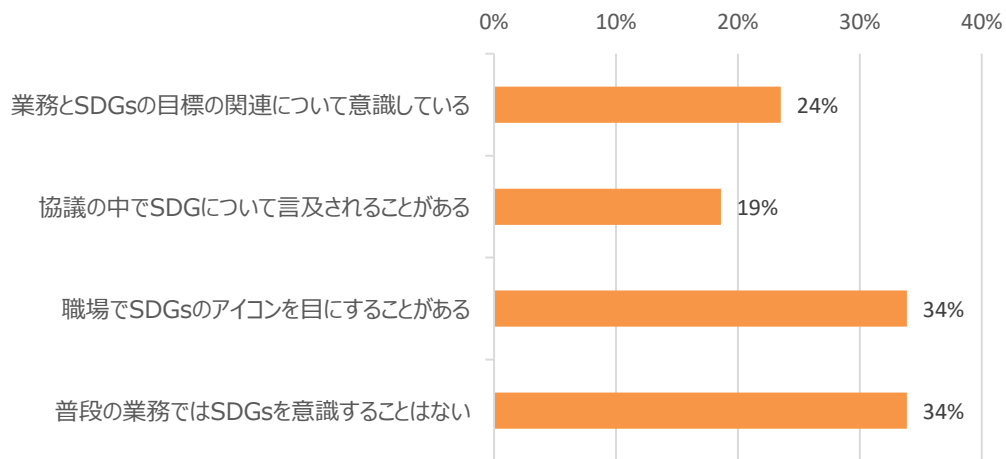
●市民と職員の評価の比較については、クロス集計などの分析も加えつつ、必要に応じた取組強化あるいは周知・発信の強化などを検討していく。

2 SDGsについて

SDGs認知度



業務を行うにあたってのSDGsへの意識



吹田市が特に注力すべきゴール

